

# 連載コラム

## みずき野と その周辺の 植物と昆虫

第1回  
はじめに



本吉總男

# みずき野とその周辺の植物と昆虫

## (1) はじめに

みずき野は、優れた都市計画によって造られた道路や街並や適所に配置された公園や遊歩道があり、そこにはまたいろいろな木々が茂り、いわば人工美と自然の美しさが融合した町です。

それに加えて、市やボランティアや個人の方々の協力によって清潔な環境が維持されていますし、道路の脇などになにげなく植えられた草花もこの町の人たちの温かい心を伝えているように思えます。

みずき野は、田園、山林、湿地などが広がる里山の一隅（郷州原）に、山林を切り開いて造られた町ですが、往時の面影は7丁目の文化財公園に残されています。ここにはコナラの林の中に、ひっそりと稲荷大明神の祠があり、みずき野周辺の自然の守神の住まいのように見えます。



第1調整池の外側につくられた花壇  
みずき野町内会のサークルの一つ、「ポケットの会」によって管理されています。



### 文化財公園入口に据えられた碑文 「公園の由来」

みずき野はもと郷州原(ごうしゅうっぱら)とよばれる樹林地帯であったが、数千年前には人が住んだところであり、みずき野造成にあたって、古代の遺物、住居跡、墳墓等の発掘調査がなされたこと、このあたりはこの公園と均しい地表であったが、周辺の低地を埋める必要があつて表土7メートルを削除し、公園の部分のみ文化財として残されたことなどが説明されております。



文化財公園の頂上にある稲荷大明神の祠

この町は植栽された植物と野生植物を含め、住宅地としては植物の種類がたいへん豊富です。中でもとくに多様な植物が観察できる場所は、植栽された植物に関してはさくらの杜公園、野草に関しては第2調整池です。さらに、さくらの杜公園の東側から8丁目の東側に続く水路に沿う道、3丁目東の土手下の道にも多様な野草が見られます。これら植物の豊富に茂る場所には、多くの虫たちが集まり、また木の实、草の実や虫を食べる鳥たちも周辺の里山から飛んできます。



さくらの杜公園

ソメイヨシノ によって囲まれた広場



さくらの杜公園

いろいろな樹種が繁る公園の一隅

みずき野から少し足を踏み出しますと、さらに豊かな自然が広がっています。とくに東または北に隣接する取手市上高井、貝塚および守谷市本町北部は田園と山林と湿地からなる里山です。そこではみずき野地区には見られない植物や昆虫にも出会います。



第2調整池

春から秋まで、いろいろな種類の野草が観察できます

私は定年退職後10年余り、みずき野とその周辺を散策し、植物や昆虫たちを観察してきました。次回より、それらの植物や昆虫、その他の生物について書いてみたいと思います。

2014年5月  
本吉總男